

地域別構想 “金山編”

- 01 目的
 - 02 現状と課題
 - 03 まちづくりのコンセプト
 - 04 まちづくりの方針
 - 05 まちの将来イメージ
- 参考資料：取り組み



INDEX

01	目的	01
----	----	----

02	現状と課題	02
----	-------	----

- 1 金山を取り巻く状況
- 2 金山駅周辺の課題等

03	まちづくりの コンセプト	07
----	-----------------	----

04	まちづくりの方針	08
----	----------	----

- 1 まちづくりの方向性
- 2 実現に向けた進め方
- 3 主な配慮すべき視点

05	まちの将来イメージ	14
----	-----------	----

- 文化芸術あふれる
ウォーカブルなまちの形成

参考資料	： 取り組み	16
------	--------	----

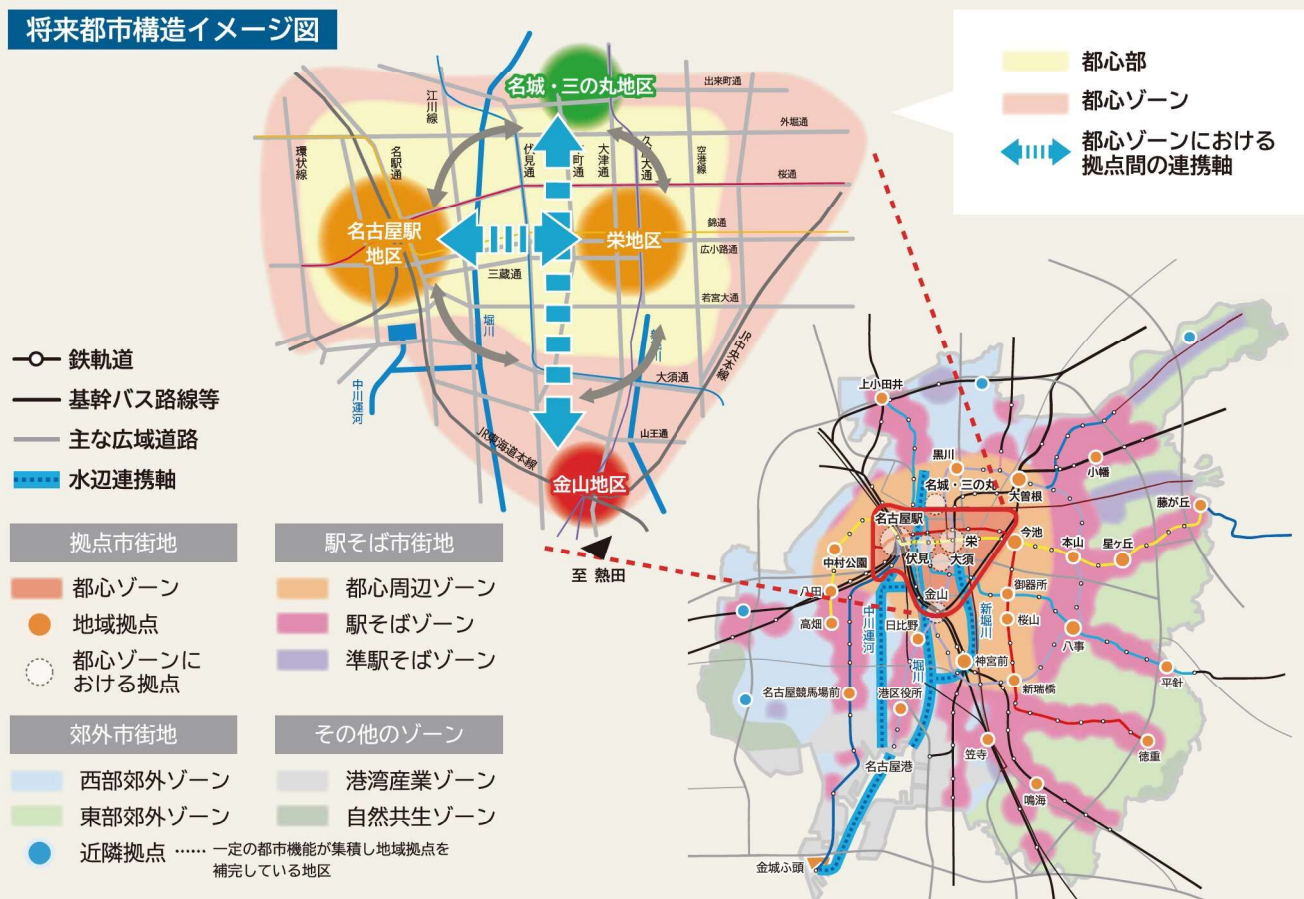
- 1 アスナル金山エリアの再整備
- 2 古沢公園・市民会館エリアの再整備
- 3 駅南口エリアの利活用
- 4 金山総合駅連絡通路橋の利活用
- 5 道路空間の再編や利活用
- 6 ウォーカブル界隈の形成
- 7 エリアマネジメントの展開
- 8 文化芸術の施策展開
- 9 エリア間連携

01 目的

本市における都心ゾーンについては、名古屋駅と栄が連携した「横軸のまちづくり」を更に活性化させていくとともに、今後は、名古屋の歴史や文化、水辺空間等の地域資源を活用した、名古屋城から金山・熱田、名古屋港・金城ふ頭などの拠点を結ぶ「縦軸のまちづくり」を更に推進し、拠点間の連携や回遊性を高めることにより、市内各地へにぎわいを拡大させていくことが求められています。

このため、地域住民、地元団体、民間企業、行政等で共有できる金山のまちの将来像を示し、官民協働による取り組みにより、名古屋駅・栄とは異なる金山ならではの魅力をより一層高めることを目的として定められた「金山駅周辺まちづくり計画」を「地域別構想“金山編”」として位置づけます。

将来都市構造イメージ図



本計画は、名古屋市総合計画2028を上位計画とし、金山駅周辺まちづくり構想(平成29年3月)により取りまとめた経緯・現状等を踏まえつつ、リニア開業により交流人口が増加する時期を見据え、市有地を核とした事業や取り組みをより一層推進していくため、これまで検討を進めてきた金山駅周辺におけるまちづくりの具体的な計画として取りまとめたものです。

02 現状と課題

1 金山を取り巻く状況

市内有数の交通結節点	金山総合駅は市内有数の交通結節点であるとともに、中部国際空港に直結しており、乗降客数は中部圏第2位の48万人／日※に上ります。 ※ 令和元年の調査結果より
多核的な拠点の形成	三大都市圏の中核として名古屋を発展させていくため、金山の拠点性をさらに強化し、名古屋駅・栄とあわせて多核的な拠点の形成を図る必要があります。
アジア・アジパラ競技大会の開催	2026年にアジア・アジパラ競技大会が愛知・名古屋で開催されるため、交通結節点である金山には数多くの来訪者が見込まれます。
リニア中央新幹線の開業	三大都市圏が一体化し、世界最大の人口を有する巨大交流圏が誕生し、産業や人々の生活において大きな変化が想定されます。

<金山駅周辺における開発の流れ>

昭和47年	市の人口200万人突破を記念し、名古屋市民会館が開館
平成元年	金山総合駅が開業し、市の南の玄関口としての拠点性が強化
平成11年	金山南ビルが開業し、あわせて南口駅前広場を整備
平成17年	土地の暫定活用を図るため、アスナル金山が開業



市民会館



金山総合駅

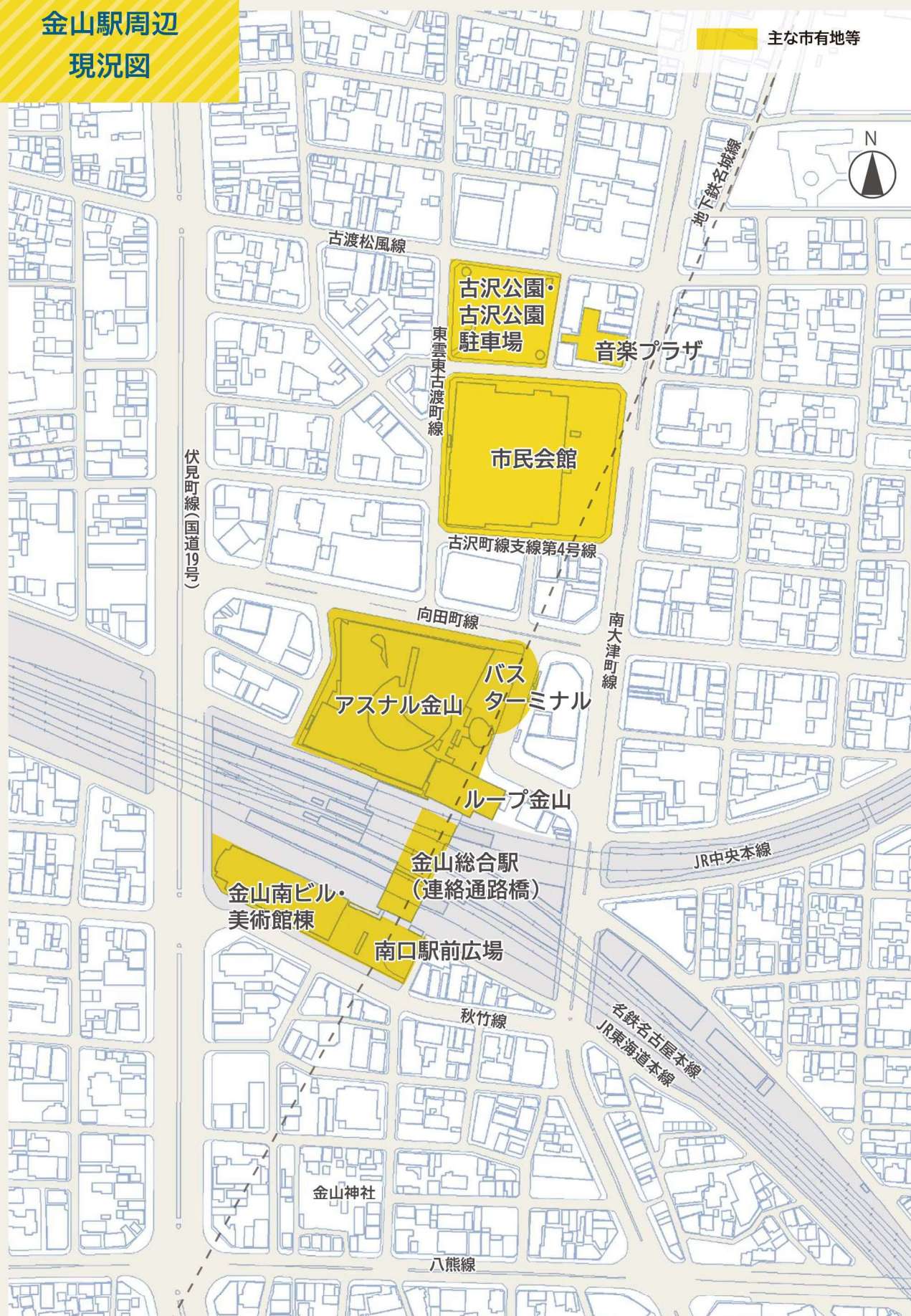


金山南ビル



アスナル金山

金山駅周辺 現況図



2

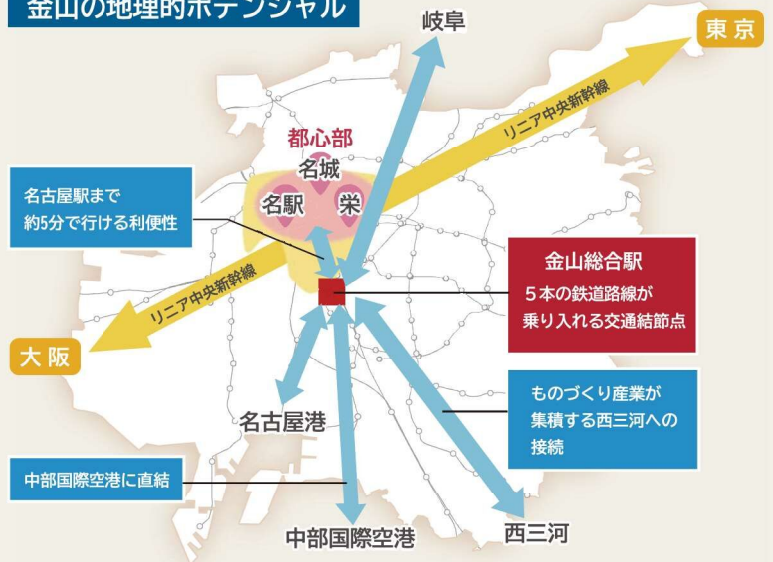
金山駅周辺の課題等

再整備に あたっての課題

■ 地区ポテンシャル

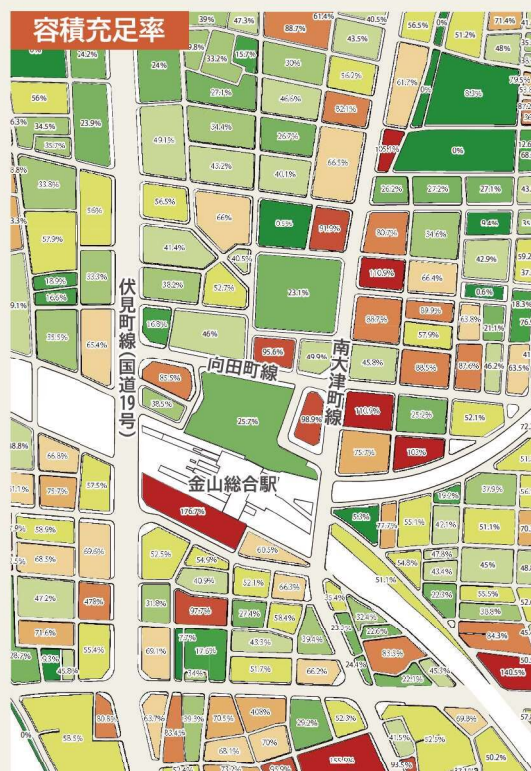
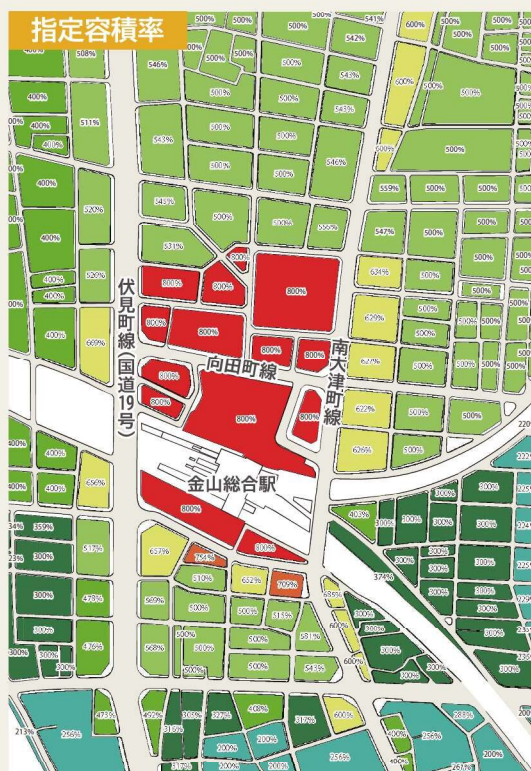
- 中部国際空港からのインバウンドやリニア開業による来訪者の増加が見込まれるなか、市内各所に加え、中部国際空港に直結し、ものづくり産業が集積する西三河や岐阜方面との結節拠点でもある地理的な優位性を、最大限に活かす必要があります。

金山の地理的ポテンシャル



■ 土地利用の状況

- 駅周辺の指定容積率が500～800%であるのに対し、街区別の容積充足率は40～50%に留まり、土地の高度利用がされていない状況です。
- 周辺建物の老朽化等の課題を抱えていますが、建替え等による機能更新が進んでおらず、民間開発の促進が求められています。



指定容積率

凡例

- 200～299%
- 300～399%
- 400～499%
- 500～599%
- 600～699%
- 700～799%
- 800%

容積充足率

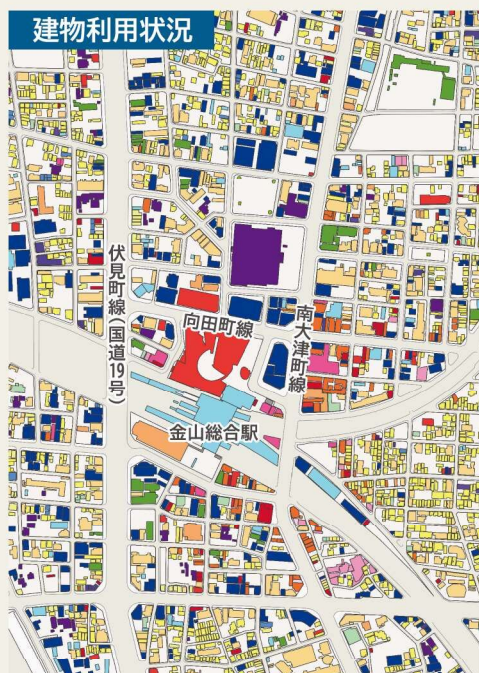
凡例

- 0～10%
- 11～20%
- 21～30%
- 31～40%
- 41～50%
- 51～60%
- 61～70%
- 71～80%
- 81～90%
- 91～100%
- 101%～

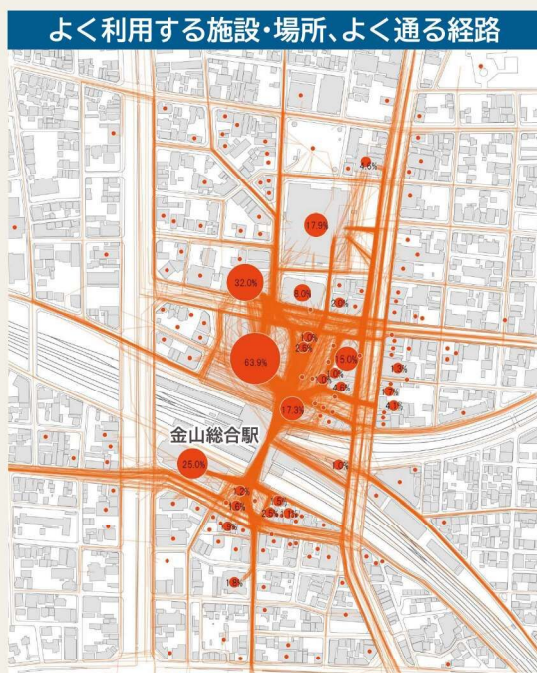
(資料)令和3年建物用途別現況調査をもとに作成

■ 回遊性

- ・駅前や商店街等を中心に商業施設が集積し、一定のにぎわいがあるものの、来訪者の行動範囲は駅を中心に限定的であり、回遊性の向上が求められています。



（資料）令和3年建物用途別現況調査をもとに作成



【出典】金山駅周辺まちづくり構想（アンケート調査をもとに作成）

よく利用する施設・場所
よく通る経路

建物利用状況 凡例

官公庁施設	事務所	スナック・バー	娯楽施設（Ⅱ）	一般住宅（戸建・長屋）	公園・オープンスペース
教育施設	物販店舗	その他店舗	供給処理施設・運輸施設	共同住宅	墓地
宗教施設・文化施設	飲食店舗	一般店舗施設・商業的サービス施設	工業施設	農漁業施設	未建築地
医療・養護施設	旅館・ホテル	娯楽施設（Ⅰ）	工業的サービス施設	その他	

■ 公共空間の利活用と適切な維持管理

- ・南口駅前広場等のオープンスペースを含めた公共空間は、マルシェや各種イベントが開催される等、まちのにぎわいづくりに貢献しています。一方、その利用が限定的であることから、実施する地域住民との信頼関係を築きつつ、駅を中心に連続的な人の流れを生み出すような利活用や維持管理体制の構築が求められています。
- ・現在の駅南地区での取り組みを活かしつつ、駅北地区においても積極的に公共空間を活用し、居心地が良く感じられる場所の数や種類を多く創出していくことが求められています。



南口駅前広場のイベント状況

■ まちなかでの文化芸術活動の推進

- ・駅周辺には文化芸術施設※が集積しているにもかかわらず、施設間の連携が不十分であることから、より身近に文化芸術が感じられるよう、施設間の連携や一体的な取り組みにより、文化芸術をまち全体へ拡げていく必要があります。

※ 文化芸術施設：市民会館、音楽プラザ、アスナル金山、金山南ビル美術館棟

市有地等の状況

■ アスナル金山

- ・ 界隈性を有する商業施設として、地域のにぎわい創出に貢献しています。
- ・ オープンスペース「明日なる！広場」は、ステージを中心とした多数のイベント開催等によりにぎわいづくりに寄与しています。
- ・ 周辺街区への波及効果は、一定の範囲に留まっており、来訪者の回遊性の向上が必要です。
- ・ 令和10年2月の事業用定期借地の期間終了を見据え、本格整備により地域のにぎわいをより一層高めることが求められています。



明日なる！広場でのステージイベント

■ 市民会館

- ・ 文化芸術や創造によるにぎわい形成に大きく寄与しています。
- ・ 開館から約50年が経過し、老朽化やバリアフリー等への対応のため、再整備が必要となっています。
- ・ 市民会館の再整備に向け、令和4年2月に「名古屋市新たな劇場の基本構想」を策定しました。



市民会館の老朽化事例(漏水)

【出典】名古屋市 新たな劇場の基本構想

■ 古沢公園

- ・ 近隣の子どもの遊び場や来訪者の憩いの場に加え、お祭り等のイベントにも利用されるなど、地域に親しまれています。



古沢公園

■ 駅南口エリア

- ・ 南口駅前広場では地域団体のほか、各種団体による様々なイベントが催されています。
- ・ 金山南ビル美術館棟は平成30年10月のボストン美術館閉館後、短期貸付による暫定利用を実施しており、企画展とアスナル金山との連携イベントも実施されるなど、まちのにぎわいに貢献しています。



駅南口エリアでの地域団体が主催するイベント

■ 金山総合駅連絡通路橋

- ・ 交通結節点としての乗換利便性の向上が図られているとともに、催事スペースでは、マルシェや物産展が日々開催されるなど、にぎわいづくりに寄与しています。
- ・ 駅南北地区をつなぐ、来訪者の回遊の起点となることが求められています。



催事スペースでの物産展

03 まちづくりのコンセプト

人・文化・芸術とともに育つまち

～ にぎわいと感性あふれる交流創造の場づくり ～

昭和47年に市民会館が開館して以降、文化芸術を鑑賞する機会を得られるまちとして多くの人々が来訪してきました。更に、平成9年には音楽の練習場やサロンを備えた音楽プラザ、平成11年には金山南ビル・名古屋ボストン美術館が開館、平成17年に開業したアスナル金山においても「明日なる! 広場」で多くの音楽等イベントが開かれるなど、文化芸術に触れられる施設が集積し、にぎわい創出に大きく寄与してきました。

近年、人々の価値観が「モノ」からこころの安らぎや活力を増大させる「こころの豊かさ」を求めるように変化している中で、快適で充実した生活を創出する一つの要素として、文化芸術の役割の重要度がより一層増しています。

金山駅周辺地域の再整備にあたっては、多様な文化芸術に触れられる環境を創出し、人々に楽しさや

感動、安らぎや喜び等、こころの豊かさが感じられ、誰もが希望を持てるまちづくりに取り組みます。

さらに、市内有数の交通結節点という地理的なポテンシャルを十分に活用するとともに、駅周辺の市有地や道路・オープンスペース等のパブリックスペースを有効活用したウォークアブルなまちづくりを進めることにより、これまで培われてきたアスナル金山の界隈性やにぎわいをまち全体に継承・発展させ、名古屋駅や栄など他の地域にない金山の魅力向上を目指します。

金山に来れば、誰もが様々な体験や活動ができる場所や空間があり、“ここに来てみてよかった”、“もっとここにいたい”、“また来たい”と思える『夢と希望の聖地』として、人・文化・芸術とともにまちを育んでいく想いを込めています。

04 まちづくりの方針

1 まちづくりの方向性

目指す姿

アスナル金山の再整備や新たな劇場の整備とあわせ、交通結節点に相応しい都市機能の集積や多様な文化芸術に触れられるウォカブルなまちの形成を目指し、金山駅周辺地域全体の価値向上やブランディングを図ります。

■ 都市機能の集積

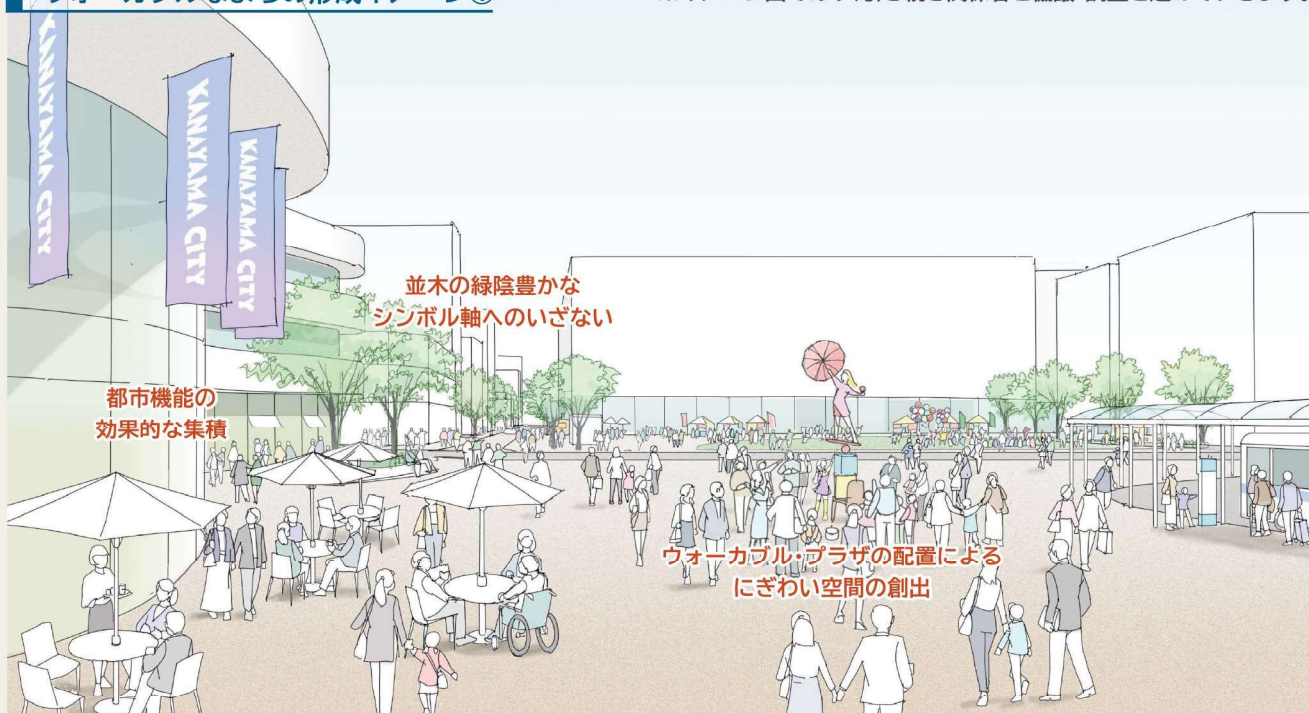
- ・交通結節点である金山のポテンシャルを活用し、駅前に都市機能を効果的に集積させ、にぎわいや交流の更なる発展を図ります。
- ・文化芸術と経済活動の融合を促し、金山の魅力向上を図ります。

■ 交通結節点としての機能強化

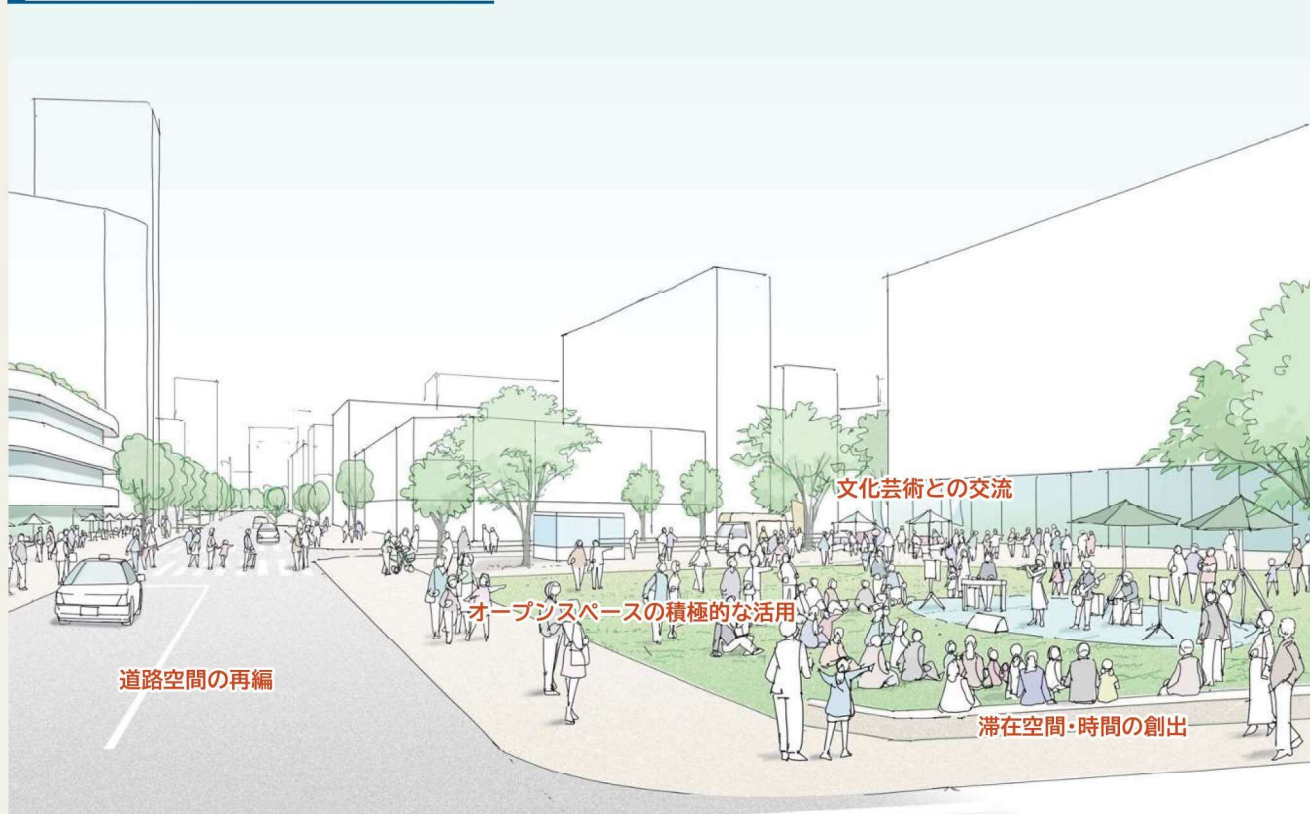
- ・駅利用者の利便性向上等、交通結節点としての機能強化を図ります。
- ・駅南北地区をつなぐ金山総合駅連絡通路橋は、リニューアルにより、高い乗換利便性に加え、情報発信機能やにぎわい交流機能の向上を図ります。
- ・大規模地震や大雨による災害発生時には、帰宅困難者など幅広い対応が求められることから、地域防災力の強化を図ります。

ウォカブルなまちの形成イメージ①

※イメージ図であり、引き続き関係者と協議・調整を進めていきます。



ウォーカブルなまちの形成イメージ②



※イメージ図であり、引き続き関係者と協議・調整を進めていきます。

■ ウォーカブルなまちの形成

- ・道路やオープンスペース等の都市基盤をウォーカブルなまちに資する空間へ再編することにより、アスナル金山の持つ界限イメージを継承し、地域全体に拡大を図ります。
- ・オープンスペースは、市民活動やイベント等の様々な行動ができる空間として開放するなど積極的な活用を図ります。
- ・まちなかでくつろげる滞在空間・時間を持てる環境の創出を図ります。
- ・沿道建物の低層部において、新たな発見や様々な活動・交流が生まれるよう機能更新の促進を図ります。
- ・オフィスワーカーが便利で快適に滞在でき、働く楽しさが感じられるまちなかづくりを行います。
- ・熱田地区や堀川などの周辺の地域資源も意識した、回遊性向上につながるまちづくりを進めます。

■ 人・文化・芸術の交流創造

- ・本市の文化芸術を象徴し、国内外から多くの人々が訪れる魅力的な空間となる新たな劇場を整備します。
- ・新たな劇場の3ホールを核として、駅周辺の他の文化芸術施設や地域団体等と連携した面的な文化芸術施策を展開し、文化芸術の浸透を図ります。
- ・まちに開かれた新たな劇場とまちとの連続性を確保し、文化芸術との交流を育むことで金山らしさの発展・拡大を図ります。
- ・クリエイターやアーティストをはじめ創造的な活動を行う様々な人材が集い交流し、刺激し合う場の創出を図ります。

エリアの 考え方

市有地の整備をより効果的なものとするため、駅南北地区の連携を強化し、駅周辺全体の回遊性・滞在性向上やにぎわいの創出を図ります。

1 アスナル金山エリア

- ・交通利便性を活かした、多様な人が集い楽しむ駅前のにぎわい交流拠点として、金山らしい都市機能を集積させた駅前複合施設を中心とした駅前空間を整備します。
- ・アスナル金山街区と向田町線北側街区において、金山総合駅と新たな劇場をつなぐ空間を形成します。
- ・市民会館街区南側道路の一部区間を廃道し、新たな劇場と一体的な空間創出を図ります。

3 駅南口エリア

- ・地域のにぎわい創出の取り組みが継続的に行われるよう、エリアマネジメントにより、地域と協働しながら適切な維持管理を目指します。

4 金山総合駅連絡通路橋

- ・乗換利便機能に加え駅南北地区のにぎわいをつなぐ施設として利活用を図り、エリアマネジメントの展開を図ります。

2 古沢公園・市民会館エリア

- ・人と文化が行き交う文化芸術交流拠点を目指すため、まちに開かれた新たな劇場を整備します。
- ・古沢公園街区と市民会館街区の間を通る道路を廃道し、一街区化により新たな劇場と公園の一体的な利活用を図ることで、魅力あふれる空間を形成します。

ウォーカブル界限

- ・居心地が良く歩きたくなるまちなかを形成するため、公共空間に加え、沿道建物を含む地域全体のグランドレベルのにぎわい創出により、快適に滞在できる界限を目指します。

※ 令和5年度末に滞在快適性等向上区域に設定

滞在快適性等向上区域とは、ウォーカブルな空間づくりの促進のため、歩道拡幅、公園の交流拠点整備、建物低層部のガラス張り化等、区域の快適性・魅力向上を図るための整備を重点的に行う区域

歩行者動線・自動車交通の考え方

■ 歩行者動線

- ・歩行者動線の強化や滞在空間の創出により、グランドレベルの回遊性向上や周囲へのにじみだしを図ります。
- ・東雲東古渡町線をシンボル軸として位置づけ、金山駅北地区の新たなにぎわいの象徴とします。
- ・魅力的な景観形成に向け、駅から新たな劇場までの見通しを確保します。

■ 自動車交通

- ・ウォーカブルなまちの形成を見据えた適切な車両動線とします。
- ・交通結節点として公共交通の自動車動線に配慮し、利便性を確保します。
- ・金山駅周辺地域の駐車場機能については、公共交通機関利用者の利便性、周辺地域の商業集積の状況及び開発の事業手法を鑑みた対応を図ります。

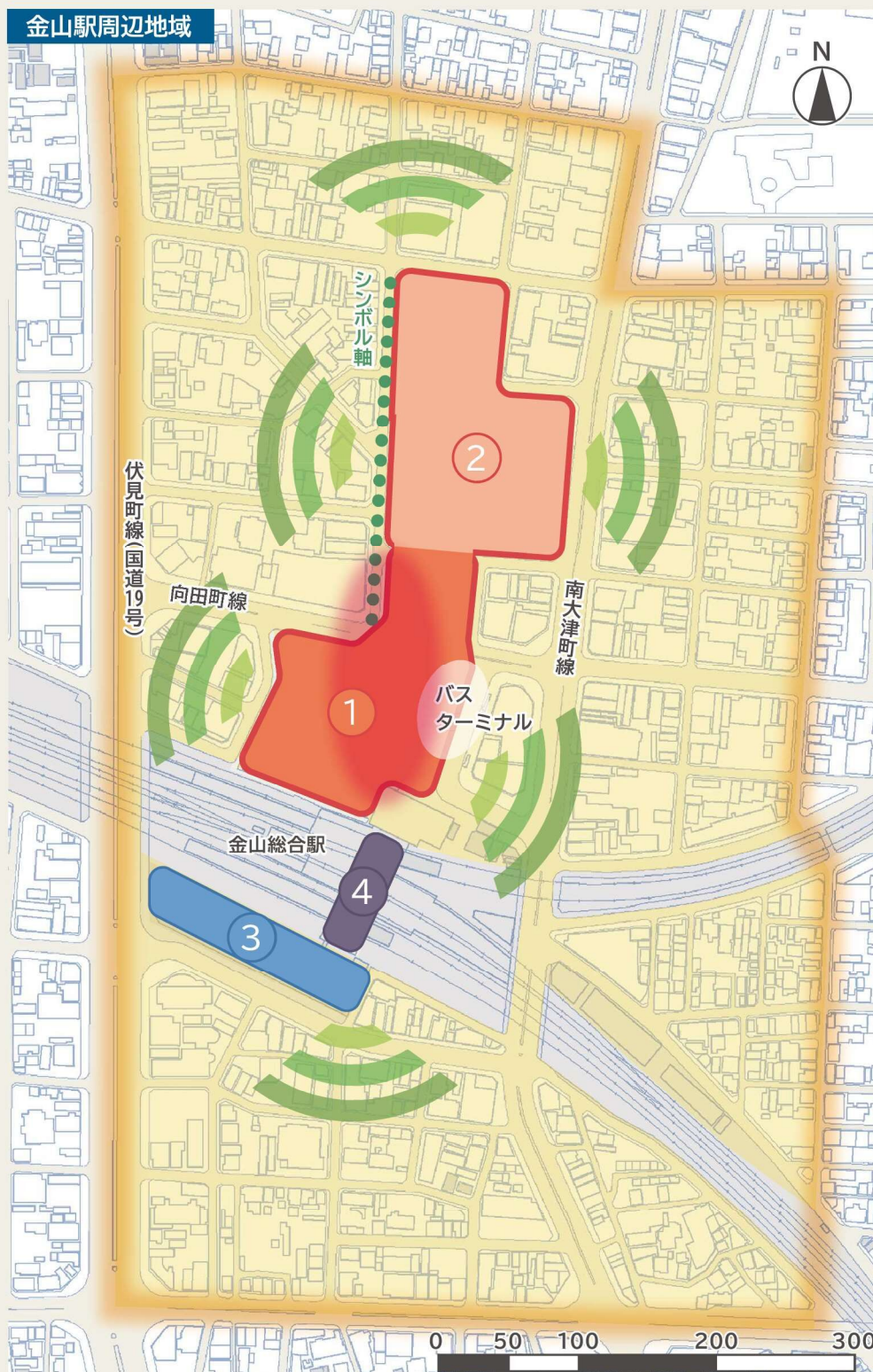
まちのゾーニングイメージ

■ 対象範囲

・整備を予定している市有地を中心に、その波及効果が及ぶと考えられる周辺を含めた範囲を対象とし、「金山駅周辺地域」と称します。

■ ゾーニングイメージ

金山駅周辺地域



1 アスナル金山 エリア

商業・業務等機能や交通機能、文化芸術機能、交流創造機能を適切に整備

2 古沢公園・ 市民会館エリア

新たな劇場、オープンスペースを一体的に整備

3 駅南口エリア

4 連絡通路橋

ウォーカブル界限
※滞在快適性等向上区域

見通しの確保や
ウォーカブル空間
の創出

凡例

歩行者動線の
周囲へのにじみだし

2 実現に向けた進め方

■ ビジョンの共有

- ・誰もが集い楽しむ多種多様な交流の場を創出し、地域住民をはじめ来訪者にとって魅力的なまちとしていくため、地域住民、地元団体、民間企業、行政等と官民連携したまちづくりを進めるアクションプログラムを含む新たなビジョンを作成し、継続的に情報共有を図ります。

■ 官民連携手法の導入

- ・民間事業者のノウハウや資金を活用し、豊かな発想の民間提案を取り入れ、にぎわいあふれる魅力的なまちの形成を図ります。
- ・文化芸術に係る活動や団体・学校等と連携し、感性あふれる文化芸術交流拠点の形成を図ります。

■ エリアマネジメントの推進

- ・金山らしさや地域ニーズを踏まえ、公共空間や建物などを新たな魅力・価値を生み出す地域資源として利活用し、にぎわいの創出や回遊性の向上を図るため、多様な人々の交流を促す居心地が良く歩きたくなる空間の創出に向けたエリアマネジメントを推進します。
- ・まちづくりの担い手である地域住民や地元団体、都市再生推進法人等とのコミュニケーションを重視し、エリアマネジメント活動が継続されるよう、組織や連携の仕組みづくりを目指します。

※ エリアマネジメントとは、地域の価値を維持・向上させ、また新たな地域価値を創造するための住民・事業者等による絆をもとに行う主体的な取り組み

3 主な配慮すべき視点

■ 環境

- ・本市では快適な都市環境と自然が調和した都市を目指しており、金山駅周辺地域においても、まち全体の緑の量やその質の向上、ヒートアイランド対策等に資するグリーンインフラの取り組みや再生可能エネルギーの導入等のカーボンニュートラルの実現に向けた取り組み等により、持続可能な未来に向けて環境負荷が少ないまちづくりを行います。

<グリーンインフラ取り組み事例>



東京都赤坂



東京都丸の内



東京都品川

【出典】グリーンインフラ事例集(令和5年3月版 グリーンインフラ官民連携プラットフォーム 企画・広報部会)

■ 情報発信

- ・来訪者のSNS等でのまちの魅力発信による回遊性・滞在性の向上に資する仕掛けづくりを行います。
- ・多様化する来訪者のニーズに対応するため、デジタル技術等の導入により地域の魅力をさらに引き出す取り組みを進めます。



【出典】国土交通省webサイト

■ 民間開発の促進

- ・交通結節点である金山駅のポテンシャルを最大限に活用し、働く、楽しむ、学ぶ、創造する、暮らす場として金山地区が選択されるよう、都市機能の高度化及び居住環境の向上に向け、都市再生制度の活用等により、市有地周辺における民間開発の促進を図ります。

■ 駐車場

- ・エリア周辺の駐車場需要や施設計画を踏まえ、古沢公園都市計画駐車場の都市計画を見直すなど、適切な規模の駐車場の配置を図ります。

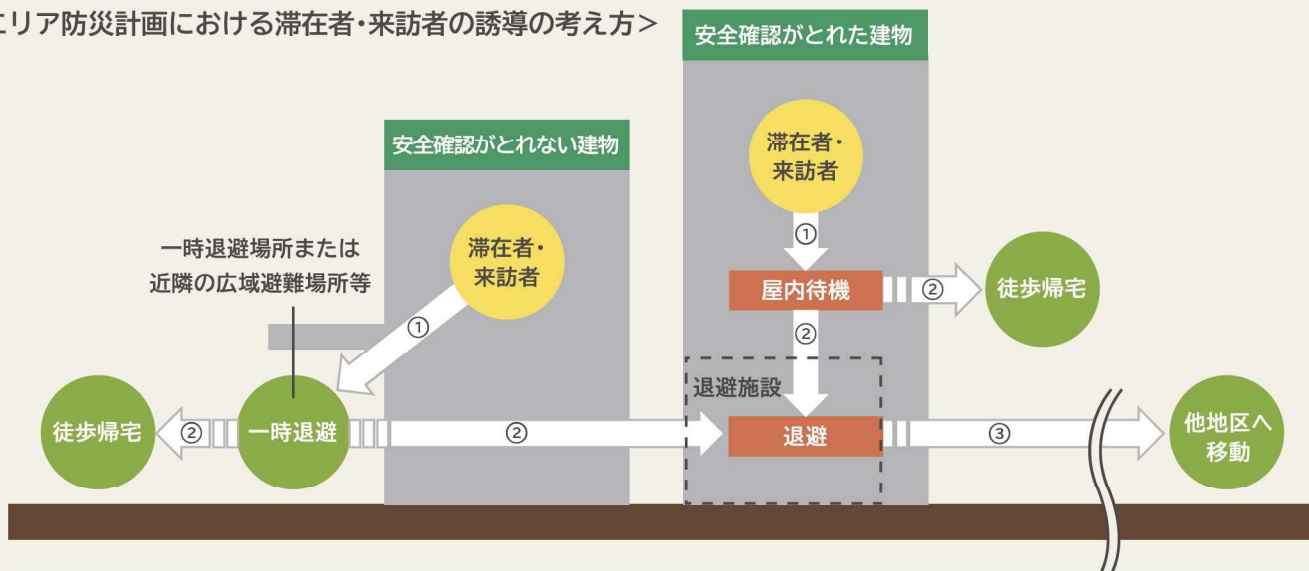
■ 景観

- ・駅前やシンボル軸など骨格となる道路等について、誰もが歩きたくする景観の形成を図ります。
- ・広場やオープンスペース等においても文化芸術活動が行える設えとすることで、文化芸術のまちなみを感じられるような景観の形成を図ります。

■ 防災

- ・情報提供機能の充実による災害時の滞在者・来訪者の安全を確保します。
- ・金山駅周辺地区エリア防災計画に基づく退避施設の拡充等、帰宅困難者対策への配慮を行います。

<エリア防災計画における滞在者・来訪者の誘導の考え方>



- ① 発災直後は、安全確認がとれた建物においては屋内待機とし、その他は一時退避場所または、近隣の広域避難場所等へ誘導する
- ② 発災から6時間までの間は、徒歩帰宅可能者に対しては道路が混雑しないように順番に徒歩帰宅を支援し、帰宅困難来訪者に対しては建物の安全点検完了後に退避施設へ受け入れる
- ③ 発災後6時間から24時間までの間は、退避施設で退避し、帰宅に向けて他地区へ移動を開始する

【出典】金山駅周辺地区エリア防災計画(令和2年3月 金山駅周辺地区帰宅困難者対策協議会)をもとに作成

05 まちの将来イメージ

文化芸術あふれるウォーカブルなまちの形成

※イメージ図であり、引き続き関係者と協議・調整を進めていきます。

ウォーカブルなまちの構成イメージ

ウォーカブル・ストリート

並木やまちなみを楽しみ、様々なアクティビティの誘発や文化に触れあえるまちのシンボル



ウォーカブル・プラザ

様々なイベントや出会いを生み出す交流の場

【 駅を中心に配置 】



ウォーカブル・スポット

市有地におけるイベントやエリアマネジメントによる取り組みを契機に地域全体においても日々の楽しみを育む開放的スポット
【 まちに点在・複数展開 】



ウォーカブル界隈

まちの奥行きを拓げ新たな発見を生み出す駅周辺のエリア



シームレスな空間創出により、居心地が良く歩きたくなるまちづくりを進めます。



想定される文化芸術の施策展開

金山駅周辺の文化芸術施設の連携



新たな劇場(3ホール)を中心に、金山駅周辺の文化芸術施設や地域団体が連携した催し等により、文化芸術の推進とまちの回遊性の向上を図る

劇場施設等の連携



新たな劇場(3ホール)及び音楽プラザが連携するイベントを実施し、文化施設間の交流を図る

アスナル金山エリアでの連携



アスナル金山エリア内で連携して催しや広報を展開し、駅前のにぎわい創出を図る

金山南ビル美術館棟との連携



金山南ビル美術館棟の展示内容と関連性が高い催しを第3ホールでも開催し、駅前の集客性を活かした文化芸術の浸透の相乗効果を図る

広場等を活用した文化芸術活動



金山駅周辺の広場・オープンスペースを活用したコンサート等をまちなかで展開し、文化芸術の浸透とまちの魅力向上を図る



参考資料：取り組み

1 アスナル金山エリアの再整備

取組内容

- ・ 中部圏第2位の交通結節点である駅前に相応しい、地域住民や観光客を含む様々な来訪者の多様なニーズに対応した交通機能の再配置を行います。
- ・ 駅前に必要となる様々な都市機能を高度に集積させつつ、アスナル金山のにぎわいや界限性を継承し都市魅力を高めるよう、駅とまちとの接点になるオープンスペースを地上部に配置します。
- ・ 向田町線北側街区周辺においては、にぎわいをつなぐオープンスペースの配置や駅から劇場へつながる見通しの確保等、まち全体への回遊性向上に資するウォークアブル空間を創出することにより、人々をまちへ誘引する連結拠点としての活用を目指します。

導入機能の考え方

■ 商業・業務等機能

- ・ 駅前複合施設は、駅からの連続性や周辺の商業施設等との配置に配慮し、商業・業務等の導入を図ります。

■ 交通機能

- ・ バスターミナル、タクシー・一般車乗降施設、駐車場等を適切に配置します。
- ・ 商業や業務等の都市機能と駅との連携強化に向け、エリア内の既存地下鉄出入口を機能として確保しつつ、利便性向上に向けた駅前複合施設との一体的な整備を目指します。

■ 文化芸術機能

- ・ 新たな劇場の第3ホールの導入を図ります。
- ・ 古沢公園・市民会館エリアに再整備される新たな劇場や金山南ビル美術館棟との施設間で連携したイベントを実施する等、文化芸術の交流や浸透を図ります。

■ 界隈性のある駅前複合施設の低層部イメージ



駅前に相応しい
都市機能の高度な集積

にぎわいや界隈性の継承

滞在・交流・回遊拠点
としての機能強化

商業機能とオープンスペースの効果的な配置

※イメージ図であり、引き続き関係者と協議・調整を進めていきます。

■ 交流創造機能

- ・ 駅から新たな劇場までの視覚的、動線的に重要な空間とするとともに、防災面での機能を発揮できるよう、駅前に十分な空間の確保を目指します。
- ・ オープンスペースは、商業機能等との一体性が高い配置としつつ、ステージ等のにぎわい施設の拡充により駅利用者をまちに引き出し、滞在・交流・回遊拠点としての機能の強化を図ります。

2 古沢公園・市民会館エリアの再整備

取組内容

まちに開かれた劇場を中心に地域住民や来訪者が利用するオープンスペースを適切に配置することにより、魅力的なエリアを形成します。

整備の考え方

■ 新たな劇場

- ・第1ホール・第2ホール等を備えた新たな劇場は、総合的な文化芸術交流拠点として、誰もが気軽に訪れる開かれた劇場を目指します。
- ・劇場周辺市街地との一体的なまちづくりの観点から、劇場への多様なアプローチ環境を整え、まちの回遊性や魅力の向上を図ります。

■ オープンスペース

- ・公園・広場などのオープンスペースは、交流・滞在空間として位置づけ、滞在快適性の向上を図ります。
- ・古沢公園は、日常的に市民が利用できる街区公園の機能を確保しつつ、新たな劇場の整備にあわせ、エリア内北側においてリニューアルし、新たな劇場と景観・意匠など調和を図ります。

開かれた劇場と一体感のあるパブリックスペースのイメージ



※イメージ図であり、引き続き関係者と協議・調整を進めていきます。

3 駅南口エリアの利活用

取組内容

既存の公共空間を利活用したソフト施策の展開及び地域や都市再生推進法人と連携した管理・運営により、にぎわいの強化を目指します。

施策展開の考え方

- ・ 南口駅前広場や金山南ビルインターコモン(屋内公開空地)等、広場空間における一体的なイベント等の実施によるにぎわいの創出を図ります。
- ・ 駅南地区だけでなくウォークアブル界隈や駅北地区と連携したイベント等の実施により、まち全体における回遊性・滞在性の向上を図ります。

駅南口エリアのにぎわい強化イメージ



※イメージ図であり、引き続き関係者と協議・調整を進めていきます。

4 金山総合駅連絡通路橋の利活用

- ・ 国内外からの多様な来訪者に向けた情報発信や大規模災害時の帰宅困難者対策等、多様なサービスの提供を目指します。
- ・ 都市再生推進法人によるエリアマネジメント活動の取り組みとして広告・イベントへの活用を図ります。
- ・ 金山総合駅連絡通路橋は、駅南北地区をつなぐ回遊性向上に資する都市利便増進施設として、さらなる効果的な活用を図ります。

連絡通路橋の効果的な活用イメージ



※イメージ図であり、引き続き関係者と協議・調整を進めていきます。

5 道路空間の再編や利活用

取組内容

都市再生特別措置法や歩行者利便増進道路(ほこみち)等の制度活用により、道路や駅前広場等における居心地が良く歩きたくなる公共空間の創出を図ります。

整備・利活用の考え方

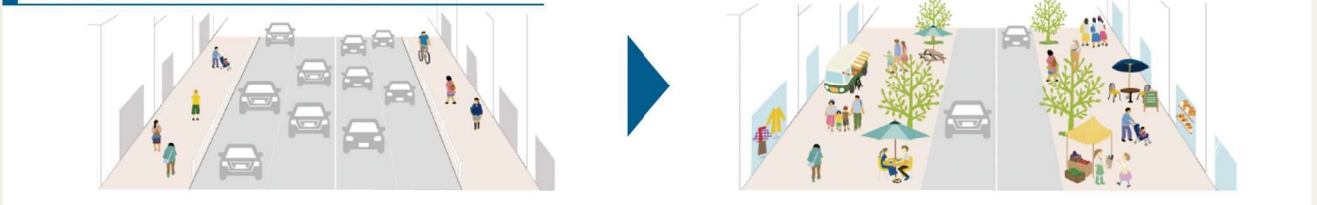
■ シンボル軸

- ・既存の緑豊かな道路空間を継承し、沿道の市有地や民有地と連携した居心地が良い歩行者空間を目指します。

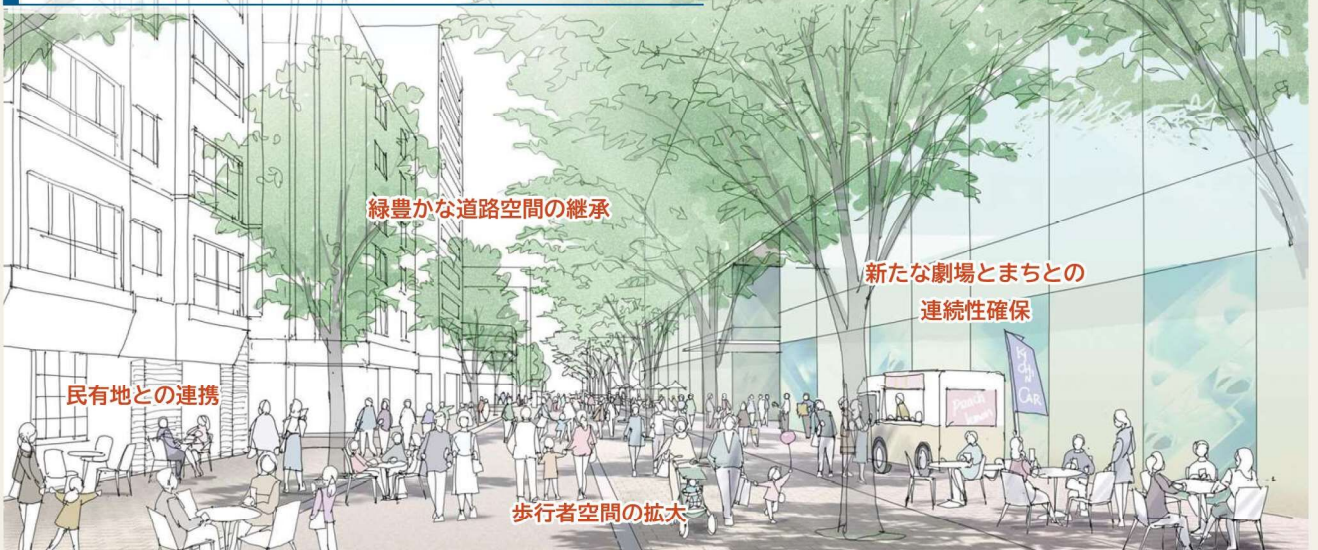
■ 向田町線

- ・アスナル金山エリアの整備と連携し、まちのにぎわいや歩行者の回遊性向上に向けて歩行者空間の拡大を目指します。

歩行者空間拡大による回遊性向上イメージ



シンボル軸のにぎわい創出イメージ(イベント時の利用)



※イメージ図であり、引き続き関係者と協議・調整を進めていきます。

■ その他道路

- ・ 金山駅周辺地域の道路については、エリアマネジメントによる活用を図るとともに、ウォーカブルなまちに資する空間への再編を目指します。

<道路のにぎわい・滞在空間創出事例>



大阪市(御堂筋)



神戸市(三宮中央通り)



奈良市(三条通り)

【出典】ほこみちのとりくみ(国土交通省道路局)

6 ウォーカブル界隈の形成

- ・ 沿道建物低層部の店舗の充実・オープンスペース化等に向けて、まちなかウォーカブル推進事業やまちづくりファンド等の支援策を活用し、居心地が良く歩きたくなるグランドレベルの実現を図ります。

※ 令和5年度末に滞在快適性等向上区域に設定



東京都丸の内

【出典】居心地が良く歩きたくなるグランドレベルデザイン(令和3年6月 国土交通省都市局)

居心地が良く歩きたくなるグランドレベル創出イメージ

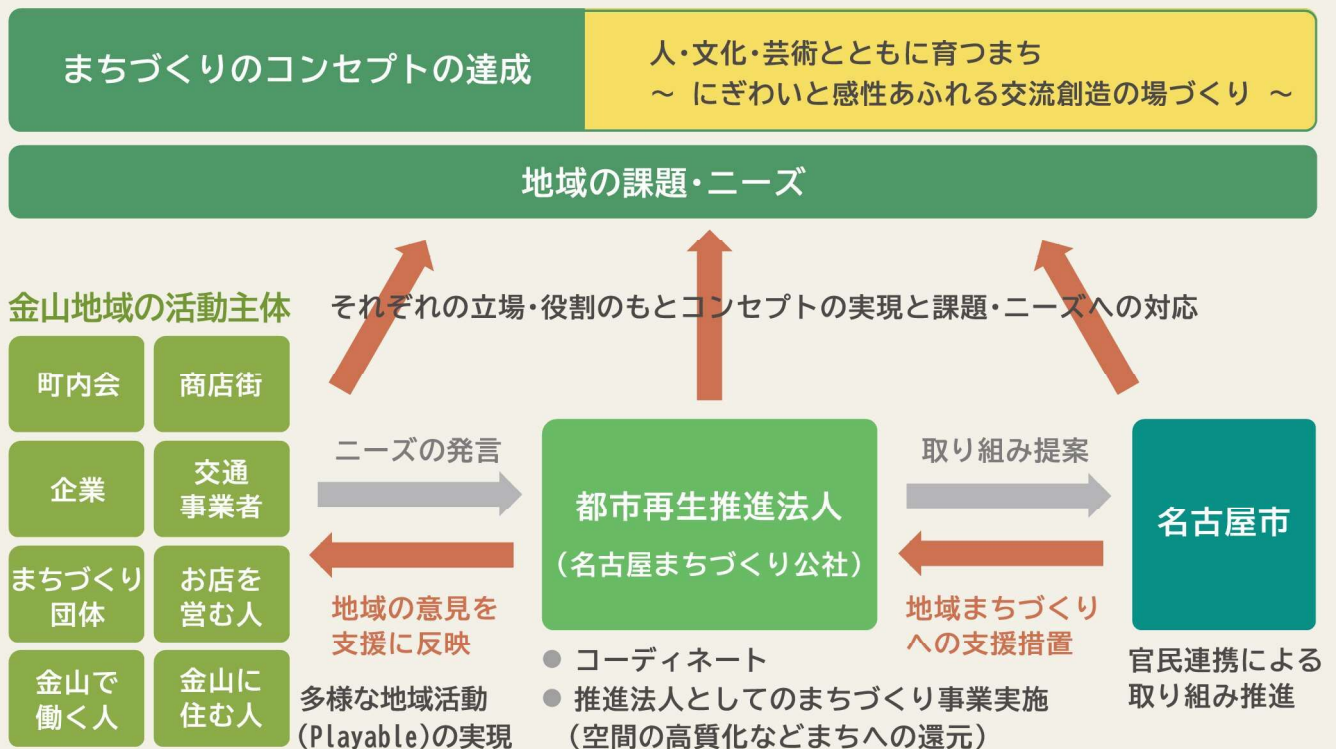


※イメージ図であり、引き続き関係者と協議・調整を進めていきます。

7 エリアマネジメントの展開

- ・快適な地域環境の形成やその持続性の確保、住民・事業者等の地域への愛着や活力の増進等を目指し、にぎわいづくりや情報発信等、地域と協働したエリアマネジメントに取り組みます。
- ・来訪者をまちへ誘引し、滞在・交流、回遊を促す仕掛けとなるよう、駅からの動線を意識しつつ地域と連携したエリアマネジメント活動が実施できる空間の創出を図ります。
- ・エリアマネジメント活動を持続可能にするための枠組みについて、都市再生推進法人を含め、官民連携して検討を進めます。

<エリアマネジメントの展開イメージ>



<エリアマネジメント取り組み事例>



歩行者天国と露店によるにぎわいづくり



公共空間におけるオープンカフェ



デジタルサイネージによる情報発信



サッポロフラワーカーペット



おもてなし花壇による美化活動



公園を活用したマルシェ

【出典】地方創生まちづくり「エリアマネジメント」(内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 内閣府地方創生推進事務局)

8 文化芸術の施策展開

- ・新たな劇場と周辺の文化芸術施設、アスナル金山エリアの都市機能、地域団体等との交流・連携により、ウォーカブルなまちの形成と一体となって文化芸術の浸透を図ります。
- ・地域住民や来訪者が気軽に文化芸術に触れられるよう、まちなかで文化芸術活動が展開される場の創出を図ります。

<まちなかでの文化芸術活動事例>



まちかどコンサート

【出典】名古屋市文化芸術推進計画2025

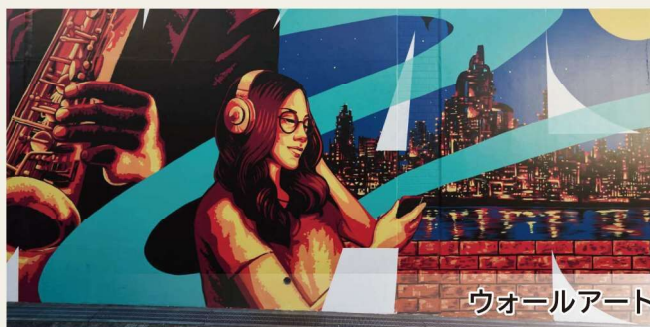


屋外でのコンサートイベント



Nagoya POP UP ARTIST

【出典】名古屋市文化芸術推進計画2025



ウォールアート

【出典】川崎市ホームページ

9 エリア間連携

- ・隣接するエリアや街区を接続する空間に、回遊性、滞在性向上に資する施設やオープンスペース等を効果的に配置したシームレスな設えとすることにより、一体的な空間を形成します。
- ・駅周辺整備や各種取り組みによる効果を最大限発揮するため、金山総合駅を中心に分断のない駅南北地区一体となったエリアマネジメントや文化芸術施策の展開を図ります。

<金山総合駅の駅南北地区一体で開催された金山まつり>



駅南北地区を巡行したお神輿



明目なる！広場での盆踊り

地域別構想 “金山編”

人・文化・芸術とともに育つまち

～ にぎわいと感性あふれる交流創造の場づくり ～

[名古屋市 住宅都市局 都市計画部 都市計画課]

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

TEL : 052-972-2712

FAX : 052-972-4164

MAIL : a2712@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp